

第9弾『絵のあるまちづくり』

目的 地域の皆さんといっしょに公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域のこどもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などに結び付ける。

主催 景観市民会議「景観人の集い」

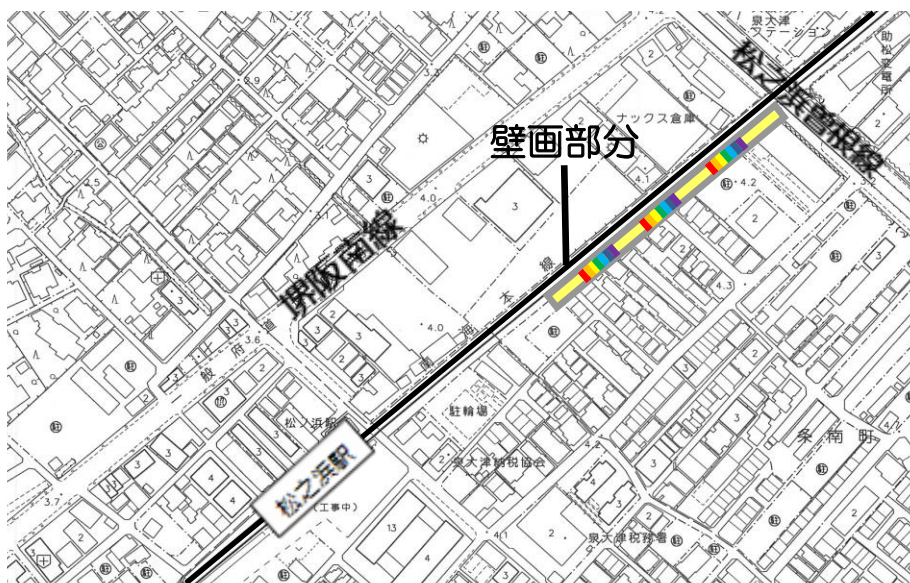
協力 東陽中学校、誠風中学校、小津中学校、条南町自治会

実施日 平成28年10月17日（月）
～10月29日（土）

場所 泉大津市条南町
南海本線コンクリート塀（東側）



※この活動で使用した塗料は、日本ペイント株式会社から寄贈いただき、その他の経費は、深喜人材育成基金を活用しております。



『第9弾絵のあるまちづくり』今回のキャンバスは条南町の、南海本線の連続立体交差事業によってできたコンクリート塀。規模は長さが約140m、高さ約2mにもなり、「虹色の世界」をテーマに描きました。
市内3中学校（東陽中学校・誠風中学校・小津中学校）の生徒と、条南町自治会の方あわせて約40名が参加し、『第8弾』に引き続きスケールの大きな絵を完成させました。

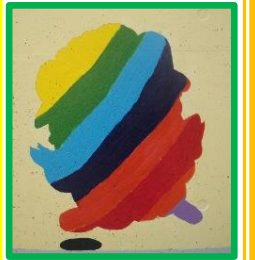
◇作業前の写真



◆まずは洗浄と下塗りをして絵を描く準備をします



☆おづみん☆



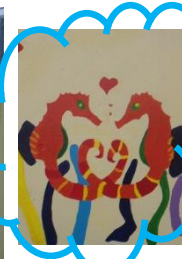
◇背景を塗って、個々のデザインを下書きしていきます



◇全員集合して、開会式です ◆絵の説明をします



◇それぞれの担当場所に行って、絵を描き始めていきます



◇子どもたちも楽しんでいます



◆自治会の皆さんも夢中で描いています



◆中学生も仲良く並んで描いています



完成!!

